

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2021.02.No282

2月号

目次

東西アスファルト報告……………	1
実行委員会報告・新年の活動方針等……………	3
女性の窓……………	6
[No.99 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <https://www.h-ab.com/>

東西アスファルト事業協同組合より 令和2年事業に100万円の助成金

平成27年以降、毎年本会事業に助成金を拠出いただいております東西アスファルト事業協同組合より、本令和2年も100万円の助成金を拠出いただきましたので「北海道建築士会ホームページリニューアル」を手掛けることとなり、令和2年12月10日にオープンいたしました。(北海道建築士No.280掲載)

北海道建築士会ホームページリニューアルの概要

- ・利用者へのよりわかりやすい情報の伝達
- ・Webでのセミナー・講習会の開催
- ・コンテンツの充実
- ・Webでの書籍、有料セミナー等の購入
- ・時代に対応したサイトの構築

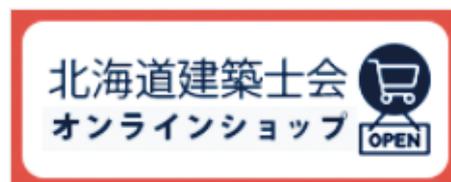
(経緯) 東西アスファルト事業協同組合では、平成26年から事業エリアごとの広告宣伝事業活動を展開し、そのエリアの風土や地区性を踏まえた、地区の主体性をもった活動を推進されています。団体として目指している地域貢献、また地域貢献以外の面でも、建築士会活動への協賛・支援をすることにより、本会の発展、ひいては建築業界への貢献に繋がるものと考えられ、平成27年以降、毎年本会事業に助成金を拠出いただいております。

会員価格での書籍購入・会員限定動画視聴もより早くスムーズに！

『オンラインショップ「建築士会会員登録」をお願いします』

すでに会員登録いただいている方も多くいらっしゃいますが、オンラインショップ内の会員登録をお済でない方は、ぜひご登録をお願いいたします。

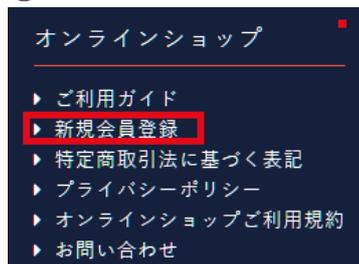
オンラインショップ内で「建築士会会員登録」いただくと、会員価格での書籍購入やセミナー・会員限定の配信動画の視聴など、スムーズに活用できます。会員登録には、北海道建築士会会員であることの確認に少々お時間をいただくため、予めご登録いただくことをお勧めいたします。



登録方法は、簡単！

オンラインショップ内画面下の①「新規会員登録」から、登録情報を入力、②「北海道建築士会会員です」に☑をいれ、所属支部、会員番号を入力してください。登録後、ご本人確認にお時間をいただきますが、登録メールアドレスに登録完了のメールが届けば完了です。マイページで③「北海道建築士会会員でログイン中」が出ていると建築士会会員価格での購入、建築士会会員限定の動画等の視聴が可能です。

①



②



③





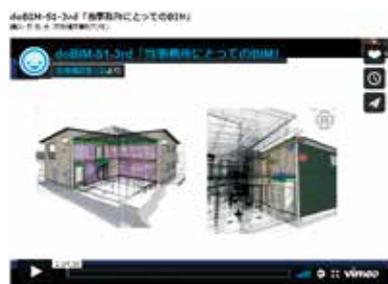
クレジットカード、代引き決済も可能、スマホにも対応した 「北海道建築士会オンラインショップ」は、もうご覧いただけましたか？

商品のラインナップ

セミナー・講習会

今現在会員限定で視聴可能です（オンデマンドで配信中）

- ・「do BIMセミナー Season1
（令和2年9月～12月開催）」4本
- ・東西アスファルト事業協同組合主催の動画防水技術ウェブセミナー2020「各種防水材料の特性」
※詳細は下記のとおり



建築士会CPD認定プログラムですので、自己研鑽等にお役立てください。（会員専用ページでも公開中）今後もセミナー・講習会、また各実行委員会作成の動画などもこちらで配信していく予定です。ご期待ください。

契約書・書籍

「建築法規解説2020」、「工事請負契約約款」等契約書式など購入できます ※建築士会会員価格あり

- ・建築法規解説2020
- ・民間（七会）連合協定工事請負契約約款
- ・民間（七会）連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負当契約書類※
- ・民間（七会）連合協定リフォーム工事請負契約書類※
- ・民間（七会）連合協定マンション修繕工事請負契約約款※
- ・四会連合協定建築設計・監理等業務委託契約書類※
- ・四会連合協定建築設計・監理業務委託契約」書類（小規模向け）※
- ・第45回～56回寒地建築技術講習テキスト
- ・住教育教材（実習用間取りキッド・講義用CD）

3月30日までの限定配信 東西アスファルト事業協同組合主催 防水技術ウェブセミナー2020「各種防水材料の特性」

東西アスファルト事業協同組合の動画を「会員専用ページ」及び「オンラインショップ」で視聴可能です。



防水講義動画：各種防水材料の特性を解説。

本動画では、新築・改修工事とともに多くの実績があり、信頼性の高い防水仕様について紹介します。最適な防水仕様を選定するにあたっては、耐久性や施工時期・環境・歩行用途など様々な理由・条件があります。各種防水仕様の特徴をご覧いただき、選定の一助にしてください。

施工実演動画：技能士による施工デモンストレーション

講義動画で紹介した防水仕様が技能士によって施工している風景をご覧いただけます。防水層は「材料」と「施工」が伴うことで初めてその性能を得ることができます。特に改修工事に於いては設備架台が密集している下地が著しく劣化しているなど十分な施工環境が整っていない場合がございます。また周辺環境への配慮といった観点では、臭い・煙の排出なども選定理由に於ける重要なコンテンツとなります。実現場における施工可否の判断基準としてご活用ください。

総務・企画委員会

コロナ禍から。。

委員長 高橋 幸二 (日高支部)



『なかった1年間』に、してもらいたい時間と気分です。コロナ禍に翻弄された令和2年で、新スタイルが各方面で模索の中広がり、試行錯誤を現在も続けている状況でしょうね。

総務委員会は、企画の二文字が増え、新たな取り組みへとスタートでしたが、WEB会議にある、そうせざるを得ない下で、離れた？距離感を保つ？活動でしたが、このスタイルも新たな取り組みの結果でしょうかね。そんな中、新事業への取り組みも生まれ、特別活動費として助成が始まります。当委員会からの『全道大会に絡めて、そこに参加するみんなが参加できるスタイルへ』の提案が受け入れられ、次年度？次々年度はそのように変化成長していく期待感が模索の中、生まれました。

変わる時は、一気呵成が功を奏するような気もしますが、昨年の『財政基盤への強化』は、脆くもコロナ禍に一気に打ち砕かれ、更なる、真摯な議論と冷静実直迅速な取り組みが不可欠と感じます。

『魅力ある会』へは、出来る人が、出来る時に、出来ない時は、出来る人を探し、応援し、出来ることから逃げないこと。なんとなく、真ん中くらいは通じない年になりそうです。自身も、なかった二年間にならぬよう、委員会の仲間とともに、議論を深め、価値観を共有し、最後の任期に取り組みます。皆様のご助言とご協力を重ねてお願い致します。

事業委員会

総括と抱負

委員長 丹波 泰哉 (千歳支部)



事業委員長をお引き受けしてから早いもので1年が経ちました。令和2年度は何かと中止、延期、制限があり、思うように活動のできない年でした。また、在宅勤務やリモート、WEB会議など従来の形から大幅に変化した年でもありました。事業委員会においても、Webによる講習会やセミナーなど、これからスタンダードになるような変化がありました。例年、当会各実行委員会の活動に対して助成金を拠出して戴いている「東西アスファルト事業協同組合」との協賛事業である「防水技術セミナー」も一堂に会して開くことができず、「防水ウェブセミナー2020」として現在開催しております。開催中はいつでもご覧いただくことが可能ですので、多くの方の受講をお願い申し上げます。また、「既存住宅状況調査技術者講習」は対面講習として「新規講習」4会場、「更新講習」1会場で開催しました。更新講習のみWeb講習を開催しておりますので、更新の方は有効期限内に受講して頂きますよう、よろしくお願いいたします。

本年度より事業委員会としての新たな事業が始まります。皆さまの支部事業に対して、微力ながらお役に立ちたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍で様々な制約がありますが、新たな事業を基に本来の元気な活動ができるよう、事業委員会より発信していきたいと思っております。

情報委員会

翻弄された令和2年と3年に向けて

委員長 斎藤 勝哉 (旭川支部)



いつもお世話になっております。また、会誌の寄稿依頼にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

令和2年は新型コロナウイルスに翻弄され、拡大防止のため各イベント、講習会の開催がほとんどなく掲載記事の確保に苦慮する一年となりました。そんな中、大きな事象としまして、zoomを利用したweb会議の構築、webセミナーの実施、ホームページの改善される等会員の皆様の利便性の向上を図っております。

本年も引き続き予断を許さない状況となっております。先が見通せず、当面のイベントも中止となっている現状ですが少しずつ例年の活動を取り戻そうとする動きも出てまいりましたことが明るい話題かと思えます。また、我々情報委員の取材による記事も積極的に取り入れ今までとは少し変わった情報を取り入れていきたいと考えております。

あらゆることに変化を余儀なくされた一年が終わり、この先を方向付ける大事な一年となることと思えます。この局面を乗り越える一助となることができればと考えております。

本年も皆様に有益な情報をお届けできるよう努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

まちづくり委員会

withコロナのまちづくり活動へ

委員長 清水 浩史 (札幌支部)



まちづくり委員長を拝命して1年、まちづくりの輪をさらに広げようと、新委員とともに意気揚々とスタートしましたが、COVID-19の影響により、リアルな活動は全くできませんでした。しかし、悪いことばかりではなく、この機会を捉え、前々期からの目標であった「まちづくり事例集」の作成に取り組むことができました。各支部の皆様には多大なご協力をいただき、感謝申し上げます。近日中にホームページで公開する予定ですので、今後、地域のまちづくり活動に活用していただければ幸いです。また、これで完成ということではなく、随時ブラッシュアップし、まちづくりの輪を広げてまいりますので、引き続きご協力をお願いします。

令和3年は、3月にまちづくり会議、7月にまちづくりフォーラム、10月に景観まちづくり塾を開催する予定です。しかし、これまでと同じような開催方法は難しいと考えており、昨年拡充されたweb会議システムや、オンデマンド配信などを活用した開催方法を検討しております。これにより、より多くの皆様に参加していただくことが可能となりますので、これを前向きに捉え、これまで以上に、まちづくりの輪を広げていきたいと考えております。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

青年委員会

今年こそは…

委員長 近藤 真人 (小樽支部)



あけましておめでとうございます。
 昨年は青年委員長として、不甲斐なさが残る一年となりました。事業計画や行事はことごとく中止や延期となり、皆様と顔も合わせることもなく、Web会議程度の活動となりました。やはり青年は「集まって!」「交流して!」「楽しんで!」「騒いで!」からの、仲間作りだと感じていましたので、全道各地の仲間と会うこともなく一年を終る悔しさが残りますと言っても、令和3年度の事業計画も完成しておりどのような世の中になろうか不安だらけですが、3月には「全道青年委員会連絡会議」5月には「青年建築士の集い」6月は、新札幌サンピアザでの「お仕事体験」さらには、今年は4ブロック合同での「協議会IN厚真町」などの企画を考えております。コロナ禍であろうが建築士の社会的役割や使命は変わることがありません。これからも建築士の仲間作りの場として青年委員会があるものと考えて、これからも皆さんと一緒に活動していける事を願うばかりです。本当に世の中の仕組みが変わりつつある中で、人との繋がりが、本当に大切なものだと思います。Web会議を通して絆は維持して、コロナ禍の先に、希望の光が見えてきたときには、皆さんで大いに盛り上がり仲間作り再開しましょう!

女性委員会

交流方法が変化する日々

委員長 工藤 美智子 (札幌支部)



女性委員会は、令和2年2月22日に第1回委員会・懇親会を開催して、年間計画の実施について打合せをし、委員で親しく飲食を共にして実りある時間を過ごしました。札幌でも新型コロナの感染者が2~3名出たというニュースは耳にしておりましたが、その時は三密回避や5人以上の会食を控えなければいけない日常になるとは夢にも思いませんでした。

結局「女性建築士の集い」「全道大会」「住教育出張講座」など計画は全てストップしてしまいました。「集まることができない」ことが本当に辛い1年でした。特に住教育活動は、「建築士が生徒に直接指導する」ことを大切な柱にしておいたので、今後どのように手法を変えていくのが良いのか悩ましいところでもあります。

ただ、イベントの参加についてはWebを活用すれば、広い北海道で今まで障害になっていた距離と時間の問題は解決できそうです。あとは臨場感をどのように体感できるかが課題です。ITも上手に活用しながら、いま私たちに出来ることを模索していこうと思います。よい方法がありましたら、アドバイスなどいただけるとありがたいです。

令和3年もどうぞよろしく願いいたします。

被災地応急支援委員会

令和2年度応急危険度判定士登録は在宅学習

委員長 小町 美穂 (札幌支部)



昨年は新型コロナ・ウイルス感染症で計画した活動は行えませんでした。今年は道庁の担当の方とも連携は取りながらお役に立てる情報発信や講習会など行っていこうと考えています。

応急危険度判定士は、特定建築物調査員と建築施工管理技士の方も登録が可能になりました、昨年から登録者も微増との結果では有りますが応急危険度判定士設立当時の半分(令和2年の登録者数2935名)と都市部で震災があった場合は判定士不足が予想されています。皆さんの登録をお待ちしております。

令和2年度の登録は新型コロナ・ウイルス感染症拡大により在宅学習+理解度判定テストの提出で更新・新規登録が可能となっています。令和3年2月26日(金)まで必着ですので、更新・新規で登録を考えている方は北海道建築士会ホームページ <https://h-ab.com/session/oukyu.html> を確認頂き登録をお願いします。道庁ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/anzensuisin/R2oqhp.htm> において、応急危険度判定講習会の他応急危険度判定の実施体制整備などもご覧頂くことが可能です。判定士の活動中の事故などによる保証制度も定めてありますのでご確認頂ければと思います。

会員増強特別委員会

建設会社の監理技術者もCPDを!

委員 針ヶ谷 拓己 (札幌支部)



みなさま、CPD(継続能力開発制度)が経審の加点対象になることはご存じでしょうか?

今年4月より、建設業法の経営事項審査の審査基準改正により、CPDがその加点対象となります。

建築士会のCPD制度は、会誌教材や講習会(WEB講習含む)・研修会が豊富で、単位が取得しやすいことから、建設会社にお勤めの監理技術者(施工管理技士)にもお薦めです。あわせて、本年より建築士会の準会員のうち施工管理技士については、その呼称を「技士会員」とすることになりました。

是非この機会に、会誌をご覧のみなさま、そして各支部役員のみなさまには、下記勧誘フライヤーをご利用いただき、施工管理技士の方々への会員勧誘にご協力のほどよろしく願いいたします。

↓CPDについて

<https://h-ab.com/system/cpd/index.html>



↓勧誘フライヤー

https://h-ab.com/download/session/app_gishikaiin.pdf



令和2年は新型コロナの影響で、会員増強特別委員会を開催できていない状況でしたが、令和3年は各ブロック会、青年委員会・女性委員会など各委員会と連携しながらより積極的に活動できればと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

ヘリテージ・マネージャー特別委員会

HM講座の報告と今後に向けて

委員長 川原 昌彦 (札幌支部)



昨年に引き続き委員長を務めさせていただくこととなります。どうぞよろしくお願いたします。

昨年は、「北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座」の第6期講座を、コロナ禍の状況を踏まえ事前に十分な検討を行い、オンライン併用等の様々な方法を用いて開催いたしました。そして、新たに北海道ヘリテージマネージャー (HM)が14名、コーディネーター (HC) が4名の計18名が修了され、平成26年第1期から合わせると合計169名となります。

今年2021年においては、第7期講座の開催に加え、北海道内のHM、HCの活用機会の情報提供や連携ができるネットワークづくりのための取り組みや、これまでの文化庁の補助金に頼ることのない自主的に持続的な講座の資金計画の検討、全国的に兆しが見え始めた各単位会等の都道府県間ヘリテージ・マネージャー資格の相互認証などの流れを注視し、必要な連携協力をしていくことを考えております。また、新型コロナへの感染拡大防止対策のため始めたオンライン講義を、今後はそのクオリティを上げ、地方からの講座受講生の負担軽減にも繋げられたらと考えています。その他、課題は数多くありますが、それらに尽力していく所存ですので今後ともどうぞよろしくお願致します。

地域貢献活動センター委員会

新たな時代への挑戦！

委員長 鈴木 徹 (十勝支部)



昨年は新型コロナウイルスの発生により、医療、経済共に大打撃を受け、現在もその影響は続いています。建築士会活動もほとんどの事業が縮小や中止となりました。委員会では、地域貢献活動センター助成金のリーフレットを作成し、会員の皆さんに周知を致しましたが、申請はありませんでした。今年もこのような状況は続くと思われませんが、こんな時代こそ新たな考えで活動を創造し挑戦して行くことが大切だと思います。この委員会では、建築士会会員が参画する営利を目的としない地域貢献活動を支援し、その活動費を補助することを目的としています。対象事業は、以下のテーマに沿うものです。(詳しくはHPをご参照ください)

新たな時代への挑戦！頑張りましょう。

1. 歴史資産の保全・再生・活用
2. 景観の保全・再生
3. 居住空間の保全・整備
4. 自然環境の保全・整備
5. 福祉環境整備
6. 防災活動や防災施設の整備
7. こどもの住教育やまちづくり教育
8. 建築やまちづくりによる地域活性化
9. その他、活動センターが地域貢献活動と認めるもの

建築士会は、建築士の地域貢献活動を応援しています。お気軽にご相談ください。ご応募をお待ちしています。応援団長は、十勝支部の鈴木徹でした。地域貢献活動頑張りましょう！

BIM推進特別委員会

BIMの普及に向けて

委員長 西岡 誠 (札幌支部)



2020年はコロナ禍によって建築士会活動も延期や休止を余儀なくされました。BIM推進特別委員会も3月からかかるとの予定で開催する予定でしたが中止いたしました。世の中では緊急事態宣言により時差出勤、テレワークへと仕事の形が移り、打ち合わせはWebで行うことが普通となりました。その中であって委員会メンバーからZoomでセミナーを行ってはその提案があり、オンラインによるセミナー「doBIM」を開催することといたしました。試験的に第0回目として参加者限定で自分が講師を務めたい、その後Season1として本州で活躍される3名の講師の方々にセミナーを行っていただきました。Season1では3回のセミナーに対して延べ150名ほどの方にご参加いただきました。大変ありがとうございました。この時のセミナーにつきましては士会のホームページで動画配信をしておりますのでご視聴いただければと思います。恥ずかしながら自分の回もあります。委員会では2月より「doBIM」Season2としてオンラインセミナーを開催いたします。多数の会員の方々にご参加いただければと思っております。自分の夢は北海道がBIMの先進地となることです。セミナーに興味を持たれた方に対しての相談窓口的な仕組みも考えていければと思っておりますので皆様宜しくお願致します。

令和3年

(一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。

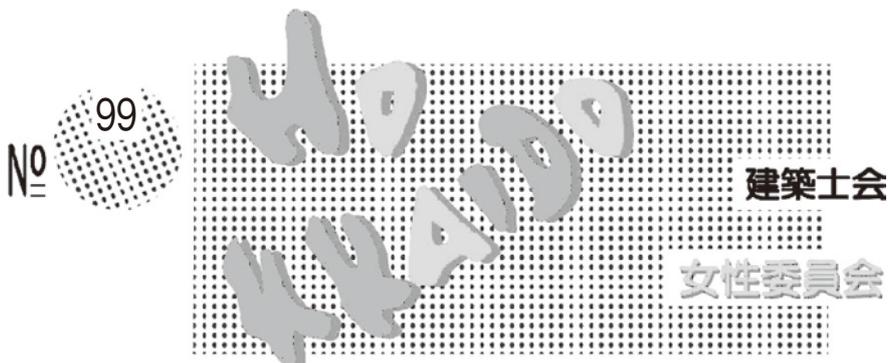
応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.289」に掲載します。

多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.283」に掲載。また北海道建築士会HP (<https://www.h-ab.com/>) では、第1回～8回の作品も見ることができます。



昨年の作品



旭川マイホームセンター見学会

石田奈津子 (旭川支部)

10月13日(火) 今期初の見学会を開催しました。

見学先は、昨年、旭川に新しくオープンした北海道マイホームセンター「旭川北彩都会場」です。

旭川駅周辺という立地条件にありながら、日常業務に追われて個人では足を運ぶ機会がなかなか難しく、委員会の中でも、毎回、士会として見学したいねという声があがっておりました。

全12棟の最新モデルハウスのうち残念ながら、1社は火曜日が定休日ということで見学できませんでしたが、11棟じっくりと、勉強させて頂きました。

平日の午後からの見学でしたが、みなさん普段なかなか展示場の見学に行けないということもあり、たくさんの方に参加して頂きました。

新型コロナウイルスの影響もあり、施設側から細かな指導を頂き、3密をさけるため、3～4人のグループに分けて、見学する棟が重ならないように回り方にも配慮をしました。又、マスクの着用と見学する際には玄関先で手指消毒を徹底して入室させて頂きました。

この日は10月といっても外は寒かったのですが、モデルハウスの中はどこもほかほかと温かく、担当の方は、私たちの質問にも親切に説明して下さい、温かい気持ちにさせて頂きました。

感染対策の方も各モデルハウス

の入り口に消毒液がきちんと設置されており、見学者が退出されたあとは、換気等も行っているそうです。

今後の参考にとお願いしたところ、何社か撮影にもご協力いただき写真に記録させて頂くこともできました。最新の設備とデザインにインスピレーションを刺激され、仕事の英気を養えた良い見学会でした。



(素敵なガレージでしょ！)

〈委員長のひとりごと〉

コロナ×コロナで、心もつかれてきていたころ、施設関係者様には、団体見学を受け付けて頂き、感謝申し上げます。

衣食住の「住」の基本となる「マイホーム」の在り方を、日頃より提案されている各社のアイデアや気配りに直接触れることができ、参加した会員等も、自宅に帰ってきたような気持ちにさせて頂いたことと思います。

2021年も、元気に活動しましょう。

コロナ禍に思う

立花智亜喜 (網走支部)

この原稿を書いている2020年12月現在、テレビやネットでは今年1年を振り返る特集で溢れています。といっても2020年の漢字は「密」、結局はコロナに支配された1年となってしまいました。

北海道建築士会でも、網走大会が延期となり、各委員会や支部活動は日々変わる制約の中で、様々な工夫を凝らした活動等が行われていました。しかし、網走支部ではどんなに工夫を凝らそうと考へても、市民を対象とした行事はリスクが高く実現に至りませんでした。

女性委員会では、7月に会議室とzoomを併用した会議、11月にzoomによる会議が開催されました。慣れない環境での会議でしたが「新たな日常」を実感する機会にもなり、2021年からの公私のあり方を改めて考えることができました。

観光地・網走市では、毎年2月に開催される冬の1大イベント「あばしりオホーツク流氷まつり」が2021年は中止となりました。網走市民や観光客で賑わう歴史あるお祭りが、パンデミックで中止となる事は、今まで誰も考えたことのない事態です。

当たり前のことが当たり前でなくなる今、建築士の私達に何ができるのか、奇しくも網走大会のテーマ「Lat.44° N. ともに語ろう北海道の未来」、サブテーマ「建築士は何ができるだろうか？」に繋がる時代を迎えることになりました。

2021年は、コロナに打ち勝ち、何かと不便が多い「新たな日常」をユニバーサルデザイン化できるといいなと思っています。

宗谷支部

稚内市の歴史的建造物

事務局長
小野 孝



2002～03年に稚内市からの依頼で建築学会と共に行った市内の歴史的建造物の基礎調査を取りまとめた本「稚内市の歴史的建造物」が04年に発刊されました。

しかしその後も多くの建物が解体され、この街の歴史を残さなければ06年に会員と有志が非営利市民団体「稚内市歴史・まち研究会」を立ち上げました。

この時の基礎調査で価値が見出され、2013年に国の登録有形文化財に登録された「旧瀬戸邸」は、底曳網漁の前線基地として活気に満ちあふれていた1952年に建てら

れた底曳きの親方瀬戸常蔵氏の住宅で、現在は稚内の漁業の歴史を伝える施設として観光スポットとなりました。

いま保存に力を入れているのは、稚内の恵北という地区にある1937年に竣工した、旧海軍大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所庁舎。

真珠湾攻撃の命令電報「ニイタカヤマノボレ」を中継したとされている道北最大級のレンガ造建築物で、通称「稚内赤れんが通信所」と呼んでいます。

2019年に公益財団法人太陽財団の助成事業に稚内市歴史・まち研究会が選ばれ、稚内赤れんが通信所のB棟の清掃と外壁の補修を行いました。

その姿は太陽財団のTVCMにも流されましたので、ご覧になっ

た方も多いかと思います。

今年は、クラウドファンディングと市民の寄付で、望楼と屋根の一部を補修しました。

支部としても植樹やレンガの積み直しなど行ってきましたが、これからも稚内市歴史・まち研究会と協力して、保存活動を続けていきたいと考えています。



稚内赤れんが通信所B棟

札幌支部

「住教育」のICT化への取り組み WEB版パズルでお家を考えよう開発に向けて

青年委員長
小林 祐司



「ICT」という言葉をご存知でしょうか。Information and Communication Technology、直訳すると情報と通信の技術という意味になります。パソコンやタブレット端末を使い、インターネットを介して知識や情報の伝達を行う=ICTと理解して良いかと思います。2020年は大変に困難な年でした。あらゆる場面でコロナの悪影響を受け、生活様式を変えざるを得ませんでした。そんな中でも良い変化をも

たらしたこともありました。その1つがリモートの導入です。私もzoomを導入することで円滑に業務を進めることが出来ました。こうしたツールの導入は様々な場面で起こっています。良く言えばコロナ禍は「ICT化」を促進したと言えます。我々青年委員会が取り組んでいるパズルを使った住教育は、コロナ禍の影響で思うように事業が出来ませんでした。そんな中でも、いつも開催させていただいている小学校から是非やってほしいと声を掛けていただき、厳重な感染対策を施した上で11月に開催しました。先生方からは後に感謝の手紙をいただき、多くの機会

を失った児童達にとってとても良い時間になったと言っていただきました。

2021年、札幌市内の小学校全児童を対象に1人1台の情報端末が割り当てられると聞いています。身近な教育現場でいよいよICT教育が始まります。そんな時代を見据え、パズル住教育をインターネットを介して教育ツールとして利用できるように、札幌のIT会社に開発を依頼し、2021年夏頃の完成を目指して動いています。このツールは会員であれば誰でも利用出来るようにする予定です。ご期待いただければ幸いです。

高性能改質アスファルト塗膜材と高性能ルーフィングが実現させた 「加熱型」改質アスファルト塗膜防水：プライムアス工法

熱アスファルト防水で使用する工事用アスファルトの性能を極限まで高め、

JIS A 6021 建築用塗膜防水材に相当する高い伸び率を得ることで、画期的な「省力化」工法が確立



- 高性能塗膜防水材を組み合わせることで、単層ながら3層防水に匹敵する性能
- 加熱型の最大のメリット「施工⇒即硬化」で、次工程までに時間が短縮
- 加熱型であるため、冬季の施工にも対応
- 低臭タイプのアスファルトにより、CO2排出量が低減し、環境配慮も充実
- 電気型溶融釜を使用することで、更なる省力化と環境対応を実現
- 工期短縮を求められる外構工事にも効果を発揮

 東西アスファルト事業協同組合

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6 大樹生命札幌大通ビル3階 田島ルーフィング(株)内

Tel 011-221-4014 Fax 011-222-3627

技術協力メーカー：  TAJIMA 田島ルーフィング株式会社

道士会の動き

道本部の主な会議報告（1月）

◆四役・実行委員長会議

〈開催日〉1月19日(火)

- 〈議題〉1) 各実行委員会の今後の事業及び会議の持ち方について
2) その他

◆第1回青年委員会 (Web)

〈開催日〉1月23日(土)

- 〈議題〉1) 令和2年事業報告・決算報告、令和3年事業計画・予算について
2) 全道青年委員会連絡会議について
3) 青年建築士の集い(稚内)について
4) 全道大会青年サミットについて
5) 全道大会C分科会について
6) その他

◆まちづくり委員会小委員会 (Web)

〈開催日〉1月25日(月)

- 〈議題〉1) 令和3年事業計画について

本部の主な行事予定（2月）

- 20日(土) 第1回女性委員会
27日(土) まちづくり委員会Web委員会
27日(土) 事業委員会

関係機関等会議参加予定（2月）

- 24日(水) 建設系CPD協議会シンポジウム
高野会長出席

編集後記

こここのところの話題は全て新型コロナウイルス関連一色で、正直なところ辟易しております。年が明け、心機一転することもできずに我慢の日々が続いているわけですが、そろそろ我慢しきれない時期に来ているのではないのでしょうか？このような難局も意味があったことだと変換できるよう心掛けたいものです。まるで、おみくじで大凶を引いた気分ですが「今が一番底、これからは上がる一方！」と信じて行こうと思います。

情報委員会委員長 斎藤 勝哉(旭川支部)

講習会のご案内（2月）

建築士定期講習

17日(水) 札幌市・北見市

監理技術者講習

18日(木) 札幌市

建築士試験「設計製図」合格者（北海道）

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	254名	66名	26.0%

CPD認定プログラム(1月認定)

◆北海道の建築技術向上のための講習会

〈開催日〉2月26日(金) 〈単位数〉4単位

〈問合せ先〉(一社)北海道建設業協会

TEL 011-261-6185

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中!



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■2月パスワード：Chi002

Web配信（2月中旬予定）

『基準法講習会』が中止となりましたので午前の部で講習を予定していた「実務に役立つ建築法規解説2020」の[第1章 新しい動き]についての解説をWeb配信します。

*詳細は、2月10日頃からホームページに掲載

令和3年 一般社団法人北海道建築士会 定時総会について

令和3年 定時総会 ⇒ 書面決議により実施

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/柏倉 晶憲・村山 賢司
片岡 哲二・境谷 香奈

北海道建築士 No.282号

印刷 令和3年1月/発行 令和3年2月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番